

萩野源一先生を送る

中 村 昭 之

萩野先生は、日本大学の定年2年前に、無理におねがいして駒澤大学に来ていただきました。最初は‘私のようなものを’と大変ためらって居られましたが、最後はこころよく承諾していただきました。

先生は広島大学在任中、九州大学との総合科学研究に長年にわたり参加されており、故秋重教授とも親交があり、そういうことも来られることを決意された一つの原因だったかもしれないと思っています。

先生の御経歴は、あらためて申すまでもなく、広島大学名誉教授、日本国立教育大学協会副会長、日本心理学会理事長などを歴任され、まことに輝かしいものであります。

同様に研究面では、奥行知覚、ケーラーの図型電流説の実験的、理論的検討、CNVなどの生理、心理学的研究、最近の環境問題に関する研究など、その幅広い研究は国内は勿論のこと国外にも知られたものであります。

このような輝かしい御経歴と業績にもかかわらず、普段の先生は、大変包容力のある温厚な人格であります。しかし、こと一旦研究となると、大変厳しく、少しの曖昧さも、妥協も許されません。このようなきびしい研究に対する態度は私共にとって何よりの薬であり、私共の等しく感銘するところであります。

先生にはこのような科学者としての一面ともう一つそれとは全く違った面が

あります。先生はかねてより奥様共々絵画の製作を趣味とされています。それも単なる趣味どころではなく、地方の展覧会はもとより中央の日展に入選される程の芸術的素質をお持ちであります。先生はかねがね、仕事のために、好きな絵画ができないことを歎いていらっしやいました。

先生が本年度限りで本学を去られることは、大変さびしいことではありますが、どうかこれからは御自由に仕残された御研究を継続され、奥様と御一緒に絵画の製作を楽しまれ、悠々自適の生活を送られますよう、また今後共、私達後進に御指導と御鞭撻を賜わりますよう、くれぐれもお願いいたします。

履 歴

- 1 9 1 3 北九州市八幡にて出生
- 1 9 3 0 山口県立長府中学校卒業
- 1 9 3 3 広島高等学校卒業
- 1 9 3 6 東京帝国大学文学部心理学科卒業
- 1 9 3 7 横浜専門学校教授（現 神奈川大学）
- 1 9 3 8 東京帝国大学副手
- 1 9 3 9 海運航空技術廠嘱託
- 1 9 4 1 山口県師範学校教諭
- 1 9 4 4 山口県師範学校病気退職
- 1 9 5 0 山口県立女子短期大学教授
- 1 9 5 2 広島大学助教授（皆実分校）
- 1 9 5 5 広島大学助教授（教育学部）
- 1 9 5 9 広島大学教授
- 1 9 6 1 文学博士
- 1 9 7 0 広島大学教育学部附属中・高等学校校長
- 1 9 7 2 広島大学教育学部長
- 1 9 7 7 広島大学名誉教授
- 1 9 7 7 日本大学文理学部教授

- 1982 駒沢大学教授
- 1984 日本生理心理学会名誉会員
- 1985 日本心理学会名誉会員
- 1985 勲三等旭日中綬章受章
- 1986 中国・四国心理学会名誉会員
- 1988 人間・環境学会名誉会員

業 績

著 書

- 1 心理学（編著）
昭和48年5月 福村出版
- 2 新心理学 ゲシュタルトからシステムへ（編著）
昭和52年4月 八千代出版
- 3 Interacting processes between behavior and environment (W. H. Ittelsonと共編著)
昭和56年11月 林印刷株式会社

論 文

- 1 時間的に見た顔面表情
昭和11年8月 心理学研究 第11巻 日本心理学会
- 2 笑の発生
昭和13年4月 心理学論文集 第6巻 岩波書店
- 3 恐怖の場
昭和14年8月 心理学研究 第14巻
- 4 色彩感情継時比較における時間錯誤
昭和27年1月 最近心理学の諸問題 千輪浩生還暦記念事業会

- 5 感情・情緒（千輪浩篇心理学）
昭和32年2月 誠信書房
- 6 奥行知覚を規定する要因に関する実験的研究
昭和36年11月 学位論文（広島文理科大学）
- 7 Luneburg の両眼視空間現象における個人定数決定の新方法
昭和43年2月 現代心理学の諸問題 福村出版
- 8 大きさの手がかりが見えの距離に及ぼす方法について
昭和45年2月 現代心理学の課題 東大出版会
- 9 Effect of size cue on perceived distance
昭和46年8月 Proceedings of 79th Annual Convention of Amer.
Psychol. Assoc.
- 10 Dependence of perceived time on special interval between two successi-
vely exposed luminous point
昭和47年8月 Proceedings of Twentieth International Congress of
Psychology, Science Council of Japan.
- 11 W. C. ゴーグル
昭和49年10月 古賀行義 現代心理学の群像 協同出版
- 12 How could we integrate " Multiple mechanisms on size perception
and size constancy? "
昭和49年12月 Hiroshima Forum for Psychology, vol. 1, Dept. Psychol.,
Hiroshima Univ.
- 13 Changes of contingent negative variation (CNV), visual evoked
response and reaction during repeated trials in simple reaction time
task.
昭和50年7月 Japanese Psychological Reserch, vol. 17
- 14 A new method for determing the personal constants of the Luneburg
theory of binocular visual space.
昭和51年7月 Perception & Psychophysics. vol. 19

- 15 Slowly changing potential modified by controlled respiratory cycles
昭和51年. 9月 Japanese Psychological Research, vol. 18
- 16 Effect of slant on distance discrimination.
昭和52年3月 Hiroshima Forum for Psychology. vol. 3, Dept. Psychol.,
Hiroshima Univ.
- 17 注意のレベルと生理学的覚醒の関係についての心理学的研究 (CNVに関する研究その他5篇を含む)。
昭和53年3月 文部省科学研究費補助金総合研究 (A) 報告書
- 18 Factors affecting the resolution of contingent negative variation (CNV).
昭和53年12月 Japanese Psychological Research vol. 20
- 19 三次元視空間の特性に関する実験的研究(1)
昭和55年3月 「研究紀要」日本大学人文科学研究所
- 20 脳電位を指標とする精神活動水準の研究 (Köhler の図型電流説の実験的研究その他2篇を含む)
昭和56年3月 文部省科学研究費補助金総合研究 (A) 研究成果報告書
- 21 奥行視の規定要因に関する研究 (刺激の明るさが見えの距離に及ぼす影響その他5篇を含む)
昭和56年3月 文部省科学研究費補助金一般研究 (B) 研究成果報告書
- 22 人間と環境の相互作用過程
昭和56年8月 学術月報. 34巻 (日本学術振興会)
- 23 Environmental psychology in Japan
昭和62年 Handbook of Environmental Psychology. ed. by D. Stoboles & S. Altmas, Wiley & Sons co.
- 24 瞑想の心理学的研究 I
昭和62年 駒沢大学文学部紀要
- 25 瞑想の心理学的研究 II 印刷中
事典類, 書評, その他. 日本心理学会大会発表 86篇 その他学会発表 51篇